

真・烈火頑駄無大將軍

データ

データ	
読み	しん・れっかがんだむだいしょうぐん
所属	頑駄無軍団総大将
デザイン機体	武者頑駄無（SD戦国伝 武者七人衆編）
作品	SDガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編

内容

結晶鳳凰に認められ、真の大將軍となった烈火頑駄無大將軍の姿。先代・雷凰頑駄無大將軍の後を継いで天宮の平和の為に闇との戦いに望み、見事闇を打ち倒した。（雷凰は義弟）

使用武器 & 支援メカ

武化舞可の號刀【ぶかぶかのごうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで號刀が認めた者しか抜く事が出来ないと言う烈火武者頑駄無が烈丸に遺した武化舞可の一つ。当初は真の力を引き出せるのは烈火武者頑駄無だけだったが後に烈丸も抜けるようになった。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

武化舞可の霸兜【ぶかぶかのほうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで地水火風のあらゆる情報を収集する能力がある武化舞可、疾風剣豪精太から嵐丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

武化舞可の天翼【ぶかぶかのてんよく】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで心力次第で大竜巻を巻き起こす事も出来る武化舞可、龍神導師仁宇から霧丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

武化舞可の鉄肩【ぶかぶかのてっけん】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで身に付けた者の腕力をアップすると言う天翔狩人摩垂屈が持っていた武化舞可の一つ。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。銀狼之章で邪骸に取り付かれた武者鋭駆主が二代目摩垂屈（衛有吾）から奪った。拳部分を射出する機能があるが鋭駆主から凄丸に渡った経緯は今のところ不明。

武化舞可の俊脚【ぶかぶかのしゅんきゃく】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで身に付けると疾風のように動く事が出来る武化舞可、隠密忍者農丸から隠丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。因みにクナイ発射機構がある。

武化舞可の大砲【ぶかぶかのおおづつ】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで天宮最強の破壊力を持つと言う大砲にして鉄機武者齋胡が持っていた武化舞可の一つ。鉄機武者齋胡亡き後、大砲を回収した剛熱機械師駄舞留精太が息子の雷丸に託した。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

武化舞可の鎧甲【ぶかぶかのがいこう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで絶対の防御力を持つ剛熱機械師駄舞留精太から雷丸に受け継がれた武化舞可の一つ。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

光翼の軍配【こうよくのぐんばい】

真・烈火頑駄無大將軍が持つ光の軍配、頑駄無結晶も装着可能。

頑駄無結晶【ガンダムクリスタル】

真・烈火頑駄無大將軍の額に輝く結晶で大將軍の力の象徴。

使用忍術 & 必殺技

術名

備考

武化舞可フル装備を果たした烈火武者頑駄無の大將軍姿。烈火武者頑駄無はかつての武者頑駄無が元だが古参ファンにとって武者頑駄無 = 大將軍の方程式は絶対不変の物であり、待ち焦がれた形態でもある。

参考資料

- B B 戦士 2 6 5 少年武者烈丸説明書 & コミックワールド
- B B 戦士 2 6 7 烈火武者頑駄無説明書 & コミックワールド
- B B 戦士 2 7 8 剛熱機械師駄舞留精太説明書 & コミックワールド
- B B 戦士 2 8 4 鉄機武者齋胡説明書 & コミックワールド
- 講談社刊 S Dガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編 (全3巻)
- 講談社刊 コミックボンボン 0 5 年 4 月号 ~ 0 5 年 1 1 月号